

# 「高知県鉄道ネットワークあり方懇談会」運営体制

令和元年10月18日  
高知県資料

## 高知県懇談会設置の目的

- ◆ 鉄道利用者の増加による新たな収益を上げるための方策を確立（公共交通全般から鉄道利用増にアプローチ）
- ◆ その方策を確立するため、民間事業者同士が鉄道利用の活性化策を協議して早期に実行（県がコーディネート）

## 親会のメンバー等

4/25に立ち上げ

- JR四国、とさでん交通、土佐くろしお鉄道
- 高知県、高知県観光コンベンション協会
- 高知市、安芸市、南国市、四万十市、大豊町、四万十町（各地域公共交通会議等のメンバー）
- 四国運輸局（オブザーバー）

※第1回会議（4/25）：JR四国の現状、各交通事業者の利用促進策、今後の会議の進め方を確認  
 ※第2回会議（10/9）：ワーキンググループの意見を取りまとめ⇒10/18に四国懇談会に概要を報告  
 ※第3回会議（1月）：具体の活性化策の進捗状況を取りまとめ⇒2月に四国懇談会に概要を報告  
 ※メンバーは適宜追加し、必要に応じて有識者や関係団体から意見を聴取

親会のとりまとめ  
状況を報告

10月と2月に報告

四国における鉄道  
ネットワークのあり方  
懇談会Ⅱ  
(10/18)

各グループの意見・  
進捗状況を報告

## 路線別ワーキンググループ

JR予土線  
(6/10、8/27)

JR土讃線  
(7/31)

※メンバーは適宜追加し、必要に応じて有識者や関係団体から意見を聴取

連携

- 高知県東部広域地域公共交通協議会
- ごめん・なはり線活性化協議会
- 高知県嶺北地域公共交通協議会
- 土佐くろしお鉄道中村・宿毛線運営協議会
- 高知県予土線利用促進対策協議会

## スケジュール案

2019年度	4月	5月～7月	8月～9月	10月	11月～12月	1月	2月
親会	4/25設置			10/9WG意見とりまとめ 10/18四国懇談会に報告		WGの進捗状況 とりまとめ	四国懇談会 に報告
ワーキンググループ (WG)		活性化策の協議(6/10・7/31・8/27)			活性化策の進捗確認		

2020年度も同様の  
スケジュールでPDCAサイクル  
による活性化策の  
進捗管理を実施

# 「高知県鉄道ネットワークあり方懇談会」路線別WGの検討状況

令和元年10月18日  
高知県資料

◆交通事業者等の民間事業者同士が、鉄道利用の活性化策を連携して実行に移せるよう、下記のとおり路線別WGで協議を行い、取り組みを進めている

## 予土線WG

### 【構成メンバー】

- ・ JR四国、土佐くろしお鉄道、高知西南交通、四万十交通
- ・ 県観光コンベンション協会、四万十町観光協会、奇想天外、沿線宿泊施設等の関係者
- ・ 県立四万十高等学校
- ・ 四万十市、四万十町
- ・ 県（中山間振興・交通部、産業振興部、観光振興部）
- ・ 四国運輸局（オブザーバー）

### 【検討状況】

#### 第1回WG

R1.6.10 四万十町役場（参加者36名）

〈内容〉

- 1 これまでの利用促進策の共有
  - ・ JR四国と高知県予土線利用促進対策協議会の取組内容を確認
- 2 グループワーク（4チームに分かれてディスカッション）
  - ・ これまでの利用促進策の検証
  - ・ 事業者が連携して取り組む予土線の活性化策の検討

#### 第2回WG

R1.8.27 四万十町役場（参加者30名）

〈内容〉

- グループワーク（3チームに分かれてディスカッション）
  - ・ 第1回WGで出されたアイデアを踏まえた活性化策の検討
  - ・ 地域資源を活用した観光利用促進策の検討
  - ・ 日常利用促進策の検討

## 土讃線WG

### 【構成メンバー】

- ・ JR四国、土佐くろしお鉄道、とさでん交通
- ・ 県観光コンベンション協会、高知市観光協会
- ・ NPO交通まちづくり高知、高知の電車とまちを愛する会
- ・ 高知市、安芸市、南国市、いの町、大豊町
- ・ 県（中山間振興・交通部）
- ・ 四国運輸局（オブザーバー）

### 【検討状況】

#### 第1回WG

R1.7.31 高知共済会館（参加者28名）

〈内容〉

- 1 これまでの利用促進策の共有
  - ・ JR四国の取組内容を確認
- 2 グループワーク（3チームに分かれてディスカッション）
  - ・ これまでの利用促進策の検証
  - ・ 事業者が連携して取り組む土讃線の活性化策の検討

### 【今後の進め方】

交通事業者等が個別協議を行って、実行に移せるものを絞り込み



第3回親会（R2年1月開催予定）に検討状況を報告



WG状況写真

予土線WG及び土讃線WGによる活性化策(案)の一覧

予土線の活性化策(案)

	【地域資源を活用した観光利用促進策】	【日常利用促進策】
1	車内放送は高校生や住民の声を録音	列車内のトイレ設置と駅舎バリアフリー化
2	企画列車の増強	沿線住民へのアンケート実施
3	海洋堂ホビー館との連携(駅ホームや車両内にフィギュア設置、スタンプラリー等)	ICカードの導入
4	鉄道とバスの連携	危機意識の見える化
5	駅からバス以外の移動手段の確立(サイクルトレイン、レンタサイクル、タクシーの活用)	免許返納制度の創設
6	ふるさと納税を活用したフリーきっぷの提供	沿線自治体でフレックスタイムの導入
7	各種企画列車の運行(ダレツツア-、地酒・地元食、スイーツ、皿鉢、十和バケツ、ガチャポン等)	
8	その他 (1)観光案内や周辺マップの充実 (2)拠点駅での観光メニュー化 (3)予土線3兄弟の土佐くろしお鉄道乗り入れ (4)パターンダイヤ化 (5)鉄橋を歩くツアー	

土讃線の活性化策(案)

	【利便性向上策】	【利用促進策】
1	【交通事業者間のダイヤ面での連携】 (1)ダイヤ調整 (接続駅で鉄道・バス・電車の時刻を極力合わせる) (2)パターンダイヤの導入	【運賃等】 (1)全体 ・昼間限定の割引回数券(駐車料金(高知市内500円)と往復料金が同等か、それ以下の割引設定) ・毎月1日限定で県内がワカッパで乗り放題 ・レギュラーに利用料付与(他社カードポイントとの交換等) (2)通勤・通学 ◎サービス向上 ・通学定期券の分割購入制度(一括購入は高価) ・定期券利用の割引率アップ ・通学定期の発行基準の見直し (現状は自宅の最寄り駅からしか購入できない) ◎行政支援 ・通勤・通学定期への財政支援 ・高齢者(特に運転免許返納者)への財政支援 (高知市の「よさこいいきいきワカッパ」が、公共交通の活性化や外出支援に繋がっている)
2	【交通事業者間の運賃面での連携】 (1)鉄道・バス・電車の乗継割引、タツとの乗継割引 (2)空港リムジンバス・MY遊バスとの共通乗車券の発行 (3)鉄道・バス・タツの合同定期の発行 (4)ゾーン内均一運賃(他社含む)によるフリー乗車券の発行 (5)鉄道・バス・電車の共通定期の発行	(3)高齢者 ・運転免許返納者への格安サービス(回数券の発行等) ・高齢者への割引施策 ・高齢者向けツアーの企画販売(日帰りで鉄道⇄バス)
3	【交通事業者間の乗継案内等での連携】 (1)駅構内でのバス・電車の案内 (2)鉄道・バス乗継が1枚でわかる広報展開(同一時刻表)	【観光関係】 (1)自転車を活用した観光振興(サイクルトレイン等) (2)車窓がきれいな箇所(レアポイント)のPR (3)インスタ映えするPR (4)物語駅 (各駅に1話のQRコードがあり、数駅を周遊すれば物語が完結 ※季節ごとに物語を変える仕組み)
4	【交通事業者間の設備面での連携】 (1)Ma a Sアプリの導入 (2)鉄道・バス等で共通利用できるICカードの導入(都市型ICカード導入の意見もあり) (3)バス待機場所の整備(駅での鉄道とバスの連携強化)	【広報展開】 (1)自治体広報誌等への時刻表の掲載 (2)鉄道・バス乗継が1枚でわかる広報展開(同一時刻表) (3)施設や観光地への公共交通アクセスパンフの作成 (4)公共交通を利用していない方へのPR強化 (5)駅・電停・バス停以外(イカや自治体庁舎等)でのPR強化 (6)企画切符のPR強化 (高知から高松・徳島等への割引乗車券が一般利用者に知られていない)
5	【設備等の充実・拡大】 (1)高知駅でのP&R拡大(高架下の有効利用) (2)車椅子の固定スペースの設置 (3)Wi-Fiの設置(駅構内・車両内) (4)車両内でのスマホ充電環境の整備 (5)接続駅の待合環境の整備(加エ・電源・冷暖房等)	
6	【その他】 (1)駅周辺の商業施設等と連携した移動手段の確立(高知駅からイカや卸団地(とさのさと・蔦屋書店)までのシャトルバス運行) (2)トクトク切符の域外購入制度の導入(関東方面に行くお得な切符は多度津駅からしか購入できない) (3)カーシェアリングとの連携事業の拡大(高知駅等) (4)自治体による駅の有効活用(観光案内所の設置等)	【その他】 (1)高齢者を対象とした利用実態調査(目的地・手段・経路) (2)高知駅東側の土地の有効活用(直販所の開設等) (3)駅での地域主体のイベントの開催 (4)企業や官公庁でフレックスタイムの導入